











みんなの議会 知らせ版

一般質問：平成31年3月7日（木）13：00～

31年1定号

順番	質問者	質問項目	答弁者
1	 高田議員	沼田町の10連休対策は	町長
2	 久保議員	『町民体育館』新築の可能性を研究しよう	町長・教育長
3	 小峯議員	厚生クリニックの入り口付近の冬場の改善について	町長
4	 長原議員	原野中央線水路の整備を	町長
5	 橋場議員	国民健康保険税の子供に対する均等割を町費負担されたい	町長
6	 橋場議員	低所得の国民の生活をさらに苦しめる、そして複雑怪奇な消費税値上げに反対されたい。	町長
7	 橋場議員	T P P参加11カ国による新協定や日米自由貿易協定による日本農業への懸念を聞きたい。	町長 農業委員会会長
8	 橋場議員	国連が2018年から2029年までを「家族農業の10年」とすることを決めました。それに対する見解を伺いたい。	町長 農業委員会会長
9	 杉本議員	人口対策第三の道（関係人口）の将来についての考え方は	町長
10	 大沼議員	移住定住について 住んでもらえる町づくりを	町長

平成31年第1回定例会は、3月7日から13日までの予定です。

3月7日 10:00～ 平成31年度各会計予算の提案説明(町長)・教育行政執行方針(教育長)
13:00～ 一般質問(10件)

是非、役場3階 議場 までお越しください。

中途からの入場、中途退場もできますので、お気軽に傍聴下さい。

なお、3月8日(金)～12日(火)(10時～、土日除く)は、役場3階会議室にて予算等審査特別委員会を開催しており、こちらも傍聴できます。

～健康福祉総合センター(役場東側玄関)から入り、エレベーターを利用すると便利です～

お問合せ先：沼田町議会事務局

平成31年 第1回沼田町議会定例会 一般質問要旨
【町長】

通告順	1	質問 議員	高田議員
質問 項目	沼田町の10連休対策は		
質問 内容	<p>本年は皇位継承に伴い、4月27日(土)から5月6日(月)までの10日間が連休になるとのことです。</p> <p>この時期は、農業を営む方達は育苗のハウス管理をしながら田耕しを行っている時期です。基幹産業に追随して商工業者にしても、小売業・サービス業を中心に経済活動が行われると思われれます。</p> <p>通常の年末年始の連休とは違い、産業活動や経済活動が行われている中での大型連休となることから、町や町が指定管理・委託をしている施設の連休対策について質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政 役場庁舎 災害時や緊急時の対応 ・医療 沼田厚生クリニック 全面休業なのか ・福祉 安心センター 定期利用してる人への対応 ・介護 和風園、旭寿園、なごみ、サービス、訪問介護 種々の介助を要する人への対応 ・保育 認定こども園、子育て支援センター、子育て交流広場 保育需要への対応 ・生活 ごみ収集、資源ごみセンター 全面休業なのか ・教育 町民体育館、夢未来、PG場、図書館、化石体験館 定期利用者や観光客への対応 <p style="text-align: right;">以上</p>		

通告順	2	質問 議員	久保議員
質問 項目	『町民体育館』新築の可能性を研究しよう		
質問 内容	<p>沼田町議会の総務民教常任委員会が今任期中に提出させていただいた6件の調査のひとつに、2017年12月に報告した『施設のトータル・マネージメント』があります。ここに示した3つの意見の最後が……、</p> <p>「3) 施設カルテから、施設の更新や廃止の計画を立てる</p> <p>昭和45年以前の老朽施設や、不要施設、大型施設の建設が昭和47年の町民体育館や昭和56年の幌新温泉平家の館なども含め、期限を決めて計画すべきである。」……です。</p> <p>屋内外のスポーツ施設の維持管理や改修は、整備計画の策定などをして、計画性を持って行うべきと考えます。午前中の教育長による『教育行政執行方針』でも「維持管理に係る経費も増加傾向にあります。今後は、老朽化した施設の在り方について、全庁的な協議のもと引き続き検討したい」と述べています。「引き続き検討」中の町民体育館への見解はいかがでしょうか。</p> <p>たとえば現在の町民体育館の解体費用や、新築費用、さらに新築時に一般財源に加えて、可能な補助金や、B&G財団や民間企業の融資、ふるさと納税など財源の組み合わせの工夫を試算されていたらご紹介ください。</p> <p>また、我が町独自のコンパクト・エコ・タウン思想にもとづき、これからの施設は、より複合施設をめざすことにより、町民ニーズの多様性を同時に満足させ各種ソフトを有機的に結びつけるしかけが求められると私は考えます。</p> <p>おとなりの秩父別町は2017年4月1日に『キッズスクエア・ちっくる』を幼児向けに、2018年7月7日に『キュービック・コネクション』を小学生向けに、2年連続であわせて総額10億円の投入を行い、観光と交流人口の爆発的な増大と、町内の商工会の活性化や新規開業2件などの成果に結びつけました。</p> <p>沼田町は、その次の世代をシームレスに呼び込むために、各種スポーツ大会の開催が可能な町民体育館の新築を検討する価値があると思います。沼田町も少子化で悩んではいますが、中学生を中心に全国レベルのアスリートが連続して誕生していますし、町内保護者の意識や指導者やN-linkなどの活動も活性化しています。安心センター「なかみち」の延長に、新『町民体育館』ができ、トレーニング・ルームやクリニックがアスリートのバックアップとなる広がりには検討に値すると考えますが、いかがでしょうか。</p>		

通告順	3	質問 議員	小峯議員
質問 項目	厚生クリニックの入り口付近の冬場の改善について		
質問 内容	<p>厚生クリニックができて2回目の冬が過ぎようとしています。去年は根雪が遅く、比較的暖かい日が続いて雪が降っても日中は雪が解け、それが凍る日が続きました。北側になるクリニックの入り口は日陰になり氷が解けることはなく、リハビリなどに来ている方は、車いすの方も杖を突いてきている方も大変だったと聞いています。反対側の安心センターの入り口のように下屋もないので入り口のドアまでは冬の間もそばまで雪があります。そばに車をつけても入り口まではかなり離れて停めなければならず、利用者の安全を図るために対策が必要と考えますが町長の考えを伺いたい。</p>		

通告順	4	質問 議員	長原議員
質問 項目	原野中央線水路の整備を		
質問 内容	<p>町道原野中央線に沿って流れる水路は、町道の側溝、沿線住民の生活排水路及び農業の用排水路を兼ねている水路であります。例年3月初めに融雪水害対策で沼田1の下流部より国道275号まで町の事業で水路の雪上げを実施しています。</p> <p>5月以降8月まで農業用水路として原野用水管理組合が使用して、この間、除草、水路の清掃を実施していますが水路内の土砂の堆積が多く組合員による作業が困難な状況です。去年の清掃では上流放水路より100m程の現状でした。水路清掃を事業化出来ないか。</p> <p>また、町道側のブロックが崩れている所も見られます、合わせて水路の整備ができないか。</p>		

通告順	5	質問 議員	橋場議員
質問 項目	国民健康保険税の子供に対する均等割を町費負担されたい		
質問 内容	<p>国保税の算定方式は、所得割、資産割、均等割、平等割となっておりますが、協会健保や社会保険には均等割（人頭割）平等割（世帯割）はありません。</p> <p>収入のない家族から、そして幼児も同額の保険税が賦課されます。</p> <p>国民皆保険と言う立場から、公的医療保険は「国民に平等に医療を保障する」ための仕組みであり、加入する保険によって負担や給付に大きな格差があることは主旨に反するのではないのでしょうか。町長の見解を伺いたい。</p> <p>国保に対する定率国庫負担割合は1980年前半は50%でした。</p> <p>1984年の改悪で国庫負担率が医療費の45%から38%に削除され保険税が値上げされました。さらに2015年には20.3%まで引き上げられました。</p> <p>「高すぎる国保税を何とかして」と言う住民の声におかれて全国知事会・市長会・町村会も国保への定率国庫負担の増額、また2014年には1兆円の公費投入を要望しています。金平町長もこれを支持してほしいと思うがどうか。また町独自で「人頭割」の子どもへの部分を町費で軽減、免除を行なうよう要望しますが考えをききたい。国保法77条で被保険者に「特別な事情」がある場合、市町村の判断で国保税を減免できると規定しています。</p>		

通告順	6	質問 議員	橋場議員
質問 項目	低所得の国民の生活をさらにくるしめる、そして複雑怪奇な消費税値上げに反対されたい。		
質問 内容	<p>厚生労働省による国の56の基幹統計の内、半数近くに不正があった事が判明しました。</p> <p>安倍首相は「アベノミクスで雇用が増えた」と自慢しているが2012年から17年までの5年間で増えた300万人のうち220万人は非正規の雇用者で、雇用者のうち非正規比率35.2%から37.3%に上昇したとの事です。「賃金が上がった」と言うが大企業の従業員でさえ平均年収が5年間で2.7%しか増えておらず（財務省統計）この間の物価上昇（6%）を大きく下回っています。中小企業やパートを含めた全労働者の平均賃金は2018年8月には年額換算で376.2万円となり、安倍政権発足前の2012年平均395.4万円に比べて19万円も減っているとなっています。</p> <p>一方、大企業の内部留保は、2012年から2017年までに92.3兆円増の425.8兆円と言います。法人税の引き下げは2015年25.5%から23.9%に、2016年には23.4%、2018年には23.2%にと減税されております。税金は払える人から納めてもらう当たり前の状態に戻してもらい、庶民いじめの消費税廃止の要求をしてほしいがどうか。</p>		

通告順	7	質問 議員	橋場議員
質問 項目	TPP参加11カ国による新協定や日米自由貿易協定による日本農業への懸念を聞きたい。		
質問 内容	<p>貿易の自由化を許せば「遺伝子組み換え食品」や残留農薬にまみれた外国農産物が日本中に出回り国民の生命を危険にさらされます。</p> <p>TPP協定や日米自由貿易協定への反対の声をあげるべきではないか。</p>		

通告順	8	質問 議員	橋場議員
質問 項目	国連が2018年から2029年までを「家族農業の10年」とすることを決めました。それに対する見解を伺いたい。		
質問 内容	<p>食糧は人間の生存にとって欠かせないものです。それに対する農業の近代化政策によって、効率化への規模拡大による企業的農業経営への移行が進みつつあります。人間の生命の維持から金儲け産業に変えられるのではと心配です。</p> <p>遺伝子組み換え食品や残留農薬食品などが氾濫しそうです。</p> <p>沼田町も規模拡大が進み、ここから家族的農業や小規模農業には戻れないかもしれませんが振り返って考えて見る必要はあるのではないのでしょうか。</p>		

通告順	9	質問 議員	杉本議員
-----	---	----------	------

質問項目 人口対策第三の道（関係人口）の将来についての考え方は

沼田町は平成の合併論議で自立を宣言し、町再生計画を基に辛い計画を乗り越え今日に至っていますが、国では自治体の継続的な住民サービス維持する為、新たな広域連携（圏域）構想には道内に於いては賛成 21% 反対 43%と面積の広い北海道ではマッチしないとしている、自立を継続する町として町の取り組みは。

地方自治体の人口対策として、総務省に設置された（これからの移住・定住に関する研究会）の報告の中に（ふる里）に想いを寄せる地域外の人材との継続かつ複層的なネットワークを形成、関わりを深め自立的で継続的な地域づくりを実現する。

1. （関わりの段階）を意識した段階的な移住・定住の支援
2. 関係人口の受け皿となる自治体レベルの新しい仕組み
ふる里住民制度・（会費を徴収する特別町民制度）
3. 中間支援組織などによるサポート

これらに対する町の将来に対する考え又取り組みに対する具体的な考え方は

質問
内容

図 関係人口の図式化と「関わりの階段」

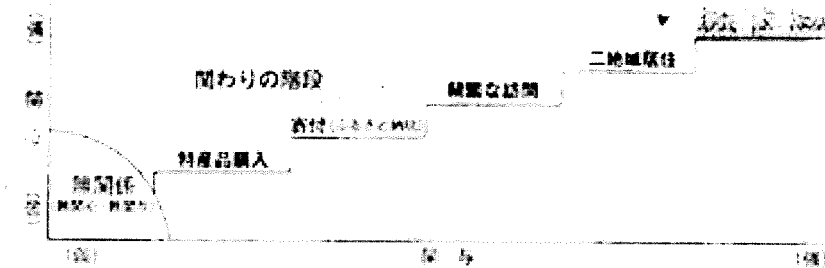


表 農村の維持活動に対する国民意識の変化（2008年と2014年、内閣府意識調査結果）

	見守りに続けようと思わない			継承が必要だが維持活動に協力したい			協力したいと思わない			合計
	2008年	2014年	増減	2008年	2014年	増減	2008年	2014年	増減	
20歳代	13.4	22.9	9.5	64.7	60.0	-4.7	19.9	17.1	-2.8	100.0
30歳代	17.5	15.7	-1.8	63.9	58.9	-5.1	18.0	23.5	5.5	100.0
40歳代	18.9	20.8	1.7	58.8	54.5	-4.3	18.9	22.4	3.5	100.0
50歳代	19.0	20.1	1.1	61.7	62.2	0.5	14.3	22.0	7.7	100.0
60歳代	22.4	21.5	-0.9	55.0	48.4	-6.6	15.6	25.3	9.7	100.0
70歳以上	25.4	24.3	-1.1	48.1	39.6	-8.5	17.2	28.6	11.4	100.0
男女計	19.0	19.7	0.7	60.0	54.5	-5.5	19.9	20.1	0.2	100.0
全国計	17.0	15.7	-1.3	63.9	58.4	-5.5	19.1	23.0	3.9	100.0

注
① 調査は、2008年（合併・農業農村の発展に関する意識調査）と2014年（農村の維持活動に関する意識調査）の調査結果を比較したものである。

通告順	10	質問 議員	大沼議員
質問 項目	移住定住について 住んでもらえる町づくりを		
質問 内容	<p>住みたい田舎ランキング（田舎暮らしの本 宝島社）の人口5千人未満の部で全国2位、道内1位となりました。沼田に移住された方も居住している方も本当に良かったと思って頂きたいと思い、次の質問を致します。</p> <p>1. 子育て支援として保育料完全無料化を行っているが、2歳児の保育が足りていないように思われます。 （例）5歳、2歳、新生児がいる5人家族で農業を営む専業主婦の場合、8週間は一時預かりをしてもらえるが、期間を過ぎて保育の事由に該当しないと預けることが出来ません。対応策を聞きたい。</p> <p>2. 難病患者会が10年程前に解散しています。勉強会を主に再結成したいと考えています。会場の提供や講師の派遣など協力する事が出来ないか聞きたい。（勉強会については難病の種類によって医療費の助成や介護保険を利用する場合、制度の変化があり個人での把握が困難）</p> <p>3. 転入者の孤独死を防ぐための方策を（転入時に身内や友人の連絡先の確保のためのルール作り） 移住された方とのコミュニケーションをどのようにしているのか聞きたい。</p> <p>4. 冬期間の野球練習を妹背牛町まで行ってしています。（町民体育館が野球ボールの使用を禁止している）土間の運動施設についての所信を聞きたい。</p> <p>5. 旧沼田厚生クリニックの跡地を防災センター建設に活用するのか所信を聞きたい。</p>		